

令和4年度指定管理者制度運用委員会における沖縄県営都市公園の
令和3年度指定管理者モニタリングの検証結果

1 日 時 令和4年8月31日（水）

2 場 所 オンライン（Zoom）会議

3 出席者 委 員：5名

（委 員）沖縄女子短期大学 総合ビジネス学科 教授 渡久地 啓

（委 員）沖縄税理士会 税理士 西里 恵里紗

（委 員）一般社団法人沖縄県建築士事務所協会 監事 當山 勝史

（委 員）一般社団法人沖縄県PTA連合会 前会長 伊禮 靖

（委 員）公益財団法人沖縄県老人クラブ連合会 常務理事 新城 智美

4 議 事

沖縄県営都市公園（バナナ公園）の令和3年度指定管理者モニタリング実施結果の
検証

5 検証内容

- ① 指定管理者及び県が実施するモニタリングは適正になされているか
- ② 収支の状況は健全か
- ③ 利用者アンケートや苦情に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか

6 議事の概要

沖縄県営都市公園（バナナ公園）のモニタリングについて、大きな指摘はなかった。

7 審議事項（主な質疑応答） ○：委員 ■：都市公園課

- 電気設備の耐用年数が過ぎているとのことだが、事故につながる危険があるため、早急に対処すべきではないか。
- 指定管理者と調整し、早急に対応する。
- 実際にバナナ公園を訪れたところ、頂上のトイレが使いなくなっているという話を聞いた。特に女子トイレは早く直さないと、利用者が困ると思われる。
- 指定管理者に状況を確認し、早急に対応する。
- 公園内の道路で、スピードを出し過ぎている車が多いと聞く。バンプを付けるなど、スピードを出しにくいような工夫をすべきではないか。
- 今後の施設整備の中で、どのような対応が可能か検討する。

労働条件等自主点検表

施設名称	バナナ公園	対象年度	令和3年度
指定管理者名	沖縄県緑化種苗協同組合		

確認事項	指定管理者による確認結果						
<p>1 労働条件の明示</p> <p>労働契約を締結するに当たり、労働時間、賃金、退職（解雇の事由を含む。）、安全衛生等の労働条件を労働者に対し明示していますか。この場合において、労働時間、賃金等に関する事項について書面を交付していますか。</p> <p>労働契約の締結時には、パートタイム労働者を含むすべての労働者に対し労働時間、賃金、退職（解雇の事由を含む。）、安全衛生等の労働条件を明示しなければなりません。特に、労働契約期間、有期労働契約を更新する場合の基準、始業・終業の時刻、所定時間外労働の有無等、約定賃金の決定、計算、支払の方法及び賃金の締切り、支払の時期等、退職（解雇の事由を含む。）については、書面を交付しなければなりません〔労働基準法（以下「法」といいます。）第15条〕</p>	就業規則、労働条件通知書を交付して労働条件全般について明示している	労働条件全般について口頭で明示するとともに、労働時間、賃金等に関する事項については書面を交付している	労働条件全般について口頭で明示しているが、書面の交付はしていない	労働時間、賃金等の労働条件の一部についてのみ口頭で明示している	労働契約締結時には明示していない		
	1	②	3	4	5		
	(3～5については、改善が必要です)						
<p>2 就業規則</p> <p>就業規則（労働時間、休日、休憩、休暇、賃金の定め方及び支払方法、退職（解雇の事由を含む。）等、労働条件の具体的細目を定めた規則）を作成していますか。また就業規則の内容が実際の勤務の状況に合っていますか。</p> <p>常時10人以上の労働者（パートタイム労働者を含む。）を使用する事業場では、就業規則を作成し、所轄労働基準監督署長へ届け出なければなりません（法第89条）</p> <p>また、常時各作業場の見やすい場所への掲示、備付け、書面の交付又は電子機器の設置等により労働者に周知させなければなりません（法第106条）</p>	常時使用する労働者は10人未満である。	常時使用する労働者が10人以上である					
		作成して監督署に届け出てあり、内容も実情に合っている	作成して監督署に届け出てあるが、内容が実情に合っていない	作成してあるが、監督署に届け出ていない	作成していない		
	1	②	3	4	5		
	(3～5については、改善が必要です)						
<p>3 所定休日</p> <p>所定休日をどのように定めていますか。</p> <p>休日は少なくとも毎週1日又は4週間を通じ4日を与えなければなりません（法第35条）</p>	週休2日制		週休1日制		その他		
	完全（毎週）	月3回	隔週	月1～2回	週1日	4週4日	4週3日以下
	①	2	3	4	5	6	7
	(7については、改善が必要です)						

4 年次有給休暇
年次有給休暇についてはどのように取り扱っていますか。

年次有給休暇は、6ヶ月間継続勤務し、全労働日の8割以上を出勤した労働者については10労働日、以降1年ごとに付与日数を増加しなければなりません(法第39条)

法定どおりの年次有給休暇を与えている	年次有給休暇を与えているが、付与日数が法定を下回っている	年次有給休暇を与えていない
①	2	3

(2、3については改善が必要です)

※年次有給休暇の法定の付与日数表(週所定労働日数が5日以上、又は、週所定労働時間が30時間以上の労働者の場合。)

勤続年数	0.5	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	6.5以上
付与日数	10	11	12	14	16	18	20

※なお、月30時間未満の労働者は比例付与することとされています。

5 健康診断
定期健康診断を実施していますか。

常時使用する労働者については、年1回定期的に健康診断を行わなければなりません(労働安全衛生法第66条)。
なお、深夜業を含む業務等に常時従事する労働者に対しては6月以内ごとに1回定期的に健康診断を行わなければなりません(労働安全衛生規則第45条)

毎年1回以上定期的に行っている	年によって行ったり行わなかったり一定しない	行ったことがない
①	2	3

(2、3については、改善が必要です)

6 最低賃金
地域別最低賃金以上の賃金を支払っていますか。

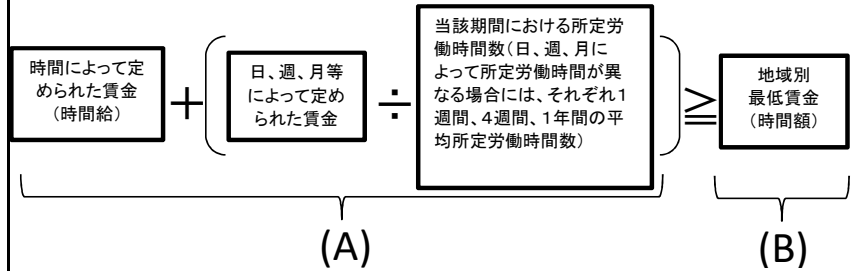
なお、地域別最低賃金には次の賃金は含まれません。

- ① 臨時に支払われる賃金(結婚手当等)
- ② 1月を超える期間ごとに支払われる賃金(賞与等)
- ③ 所定外・休日・深夜の労働に対して支払われる割増賃金
- ④ 精皆勤手当、通勤手当、家族手当

支払っている	支払っていない
①	2

(2については、改善が必要です。)

【支払う賃金(A)と地域別最低賃金(B)の比較方法】



7 割増賃金
時間外労働・休日労働又は深夜労働を行わせた場合に、その時間に対する割増賃金は、どのように支払っていますか。

法定労働時間を超える時間外労働については、2割5分以上、法定休日における休日労働については3割5分以上、深夜労働(午後10時から翌日午前5時の間の労働をいいます。)については2割5分以上の割増賃金を支払わなければなりません(法第37条)。

※割増賃金の基礎となる賃金には、家族手当、通勤手当、別居手当、子女教育手当、住宅手当、臨時に支払われた賃金、一箇月を超える期間ごとに支払われる賃金は算入しません。

時間外労働・深夜労働について

2割5分以上の割増率にしている	2割5分未満の割増率にしている	時間外労働又は深夜労働をさせているが、支払っていない
①	2	3

(2、3については改善が必要です。)

休日労働について

3割5分以上の割増率にしている	3割5分未満の割増率にしている	休日労働をさせているが、支払っていない
①	2	3

(2、3については改善が必要です。)

8 雇用保険の加入について

確認事項	従業員数	うち雇用保険加入従業員数	うち雇用保険未加入従業員数
当該指定管理施設で勤務する従業員の雇用保険加入状況	12	12	0

確認事項	指定管理者による具体的な取組内容
従業員の雇用保険加入に関する取組	雇用保険加入の条件を満たしている全ての職員に対して、雇用契約書に明記して雇用開始時に加入の手続きをとっている。

確認事項	未加入とする理由
従業員に雇用保険未加入者がいる場合の未加入理由	

※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもっぱら従事する従業員(令和3年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。

9 健康保険・厚生年金保険の加入について

確認事項	従業員数	うち健康保険加入従業員数	うち健康保険未加入従業員数	うち厚生年金保険加入従業員数	うち厚生年金保険未加入従業員数
当該指定管理施設で勤務する従業員の健康保険・厚生年金保険加入状況	12	5	7	5	7

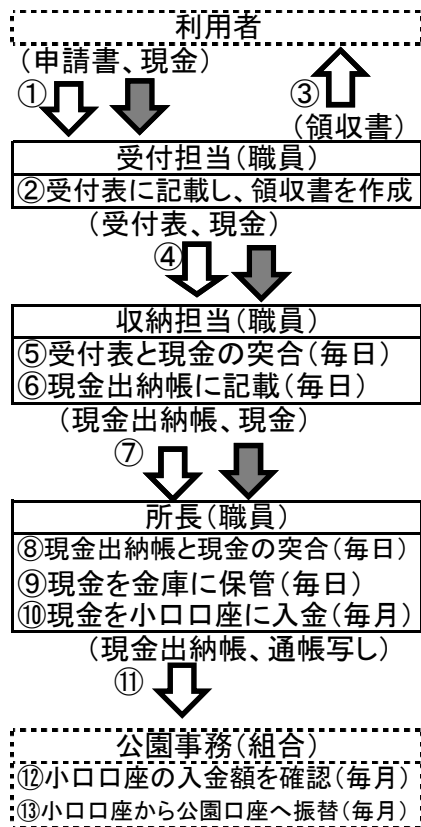
確認事項	指定管理者による具体的な取組内容
従業員の健康保険・厚生年金保険加入に関する取組	健康保険・厚生年金加入の条件を満たしている全ての職員に対して、雇用契約書に明記して雇用開始時に加入の手続きをとっている。

確認事項	未加入とする理由
従業員に健康保険・厚生年金保険未加入者がいる場合の未加入理由	就労時間が週24時間に満たない為

※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもっぱら従事する従業員(令和3年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。

料金徴収フロー図			
利用料金の名称	施設利用料金	施設の名	多目的おまつり広場

フロー図	利用料金の種類と金額
<p> 職員等 職員等以外 書類等の流れ 現金の流れ </p>	(備考) ※利用料金は、別紙添付。



- ① 受付担当職員が利用者から申請書と現金を受取る。
- ② 受付担当職員は受付表に記載し、領収書を作成。
- ③ 受付担当職員は利用者へ領収書を渡す。
- ④ 受付担当職員は収納担当職員に受付表と現金を引き継ぐ。
- ⑤ 収納担当職員は現金の金額と受付表の内容を突合する。(毎日)
- ⑥ 収納担当は⑤で確認した現金額を現金出納帳に記載。(毎日)
- ⑦ 収納担当職員は現金出納帳と現金を所長へ引き継ぐ。(毎日)
- ⑧ 所長は現金と現金出納帳の金額を突合する。(毎日)
- ⑨ 所長は現金を金庫に保管する。(毎日)
- ⑩ 所長は現金を小口銀行口座に入金する。(毎月)
- ⑪ 所長は組合の公園事務職員へ現金出納と小口座の現金有高を引き継ぐ。(毎月)
- ⑫ 組合の公園事務職員は現金出納帳と小口座の入金額を確認する。(毎月)
- ⑬ 小口座の現金を公園銀行口座へ振替する。(毎月)

別紙

(1) 行為の許可

種 別	単 位	利用料金
物品の販売その他これに類する行為を行う場合	1日につき	260円
業として写真を撮影する場合	1日につき	430円
業として映画を撮影する場合	1日につき	9,920円
興行を行う場合	1日100平方メートルにつき	250円
競技会、展示会、博覧会、集会その他これらに類する催しを行う場合	1日100平方メートルにつき	250円

備 考 利用面積が100平方メートルに満たない場合には、その満たない利用面積については、100平方メートルとして計算する。

(2) 多目的お祭り広場

区分		利用料金					備考
		9時～13時	13時～17時	9時～17時	時間外(1時間につき)		
グラウンド	入場料を徴収しない場合	一般・学生	1,800円	1,800円	3,600円	510円	利用面積が2分の1以下の場合の利用料金は、当該利用料金の2分の1の額とする
		高 齢 者	890円	890円	1,780円	250円	
		児童・生徒	890円	890円	1,780円	250円	
	入場料を徴収する場合	入場料を徴収しない場合の一般・学生、高齢者又は児童・生徒の区分及び時間の区分に応じた利用料金に、徴収する最も高い入場料の額に100を乗じて得た額を加算した額					
照明設備	全点灯	1時間につき			450円		
	2分の1点灯	1時間につき			220円		
	4分の1点灯	1時間につき			110円		

(注)

- 「時間外」とは、9時前又は17時後に有料公園施設等を利用する場合をいう。
- 「幼児」とは、満3歳から小学校就学の始期に達するまでの者をいう。
- 「児童・生徒」とは、小学校の児童並びに中学校及び高等学校の生徒その他これらに準ずる者をいう。
- 「高齢者」とは、65歳以上の者をいう。
- 「一般・学生」とは、幼児、児童・生徒及び高齢者以外の者（3歳未満の者を除く。）をいう。
- 「入場料」とは、入場料、整理料その他名義のいかんを問わず、入場者から徴収する入場の対価をいう。

備考 次の者からは利用料金を徴収しない。

- 3歳未満の者
- 幼児

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	バナナ公園	対象年度	令和3年度
------	-------	------	-------

【 目 次 】

I. 履行確認		
1. 維持管理業務	1
(1) 清掃		
(2) 保守・点検		
(3) 保安・警備		
(4) 小規模修繕		
(5) 備品購入		
(6) 防犯・防災対策		
(7) 料金徴収業務		
2. 運營業務	6
(1) 利用実績		
1) 利用者数等（又は入居率等）		
2) 施設稼働率		
3) 教室・イベント等参加者数		
(2) 運営企画		
(3) 受付・接客		
(4) 広報		
(5) 情報管理		
3. 自主事業	8
II. サービスの質の評価		9
1. 維持管理業務		
2. 運營業務		
3. 自主事業		
4. 総合評価		
III. サービスの安定性評価(財務状況)		12
1. 事業収支		
(1) 収入		
(2) 支出		
2. 経営分析指標		
IV. 総合評価		14
1. 目標		
2. 評価結果		

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	バナナ公園	対象年度	令和3年度
指定管理者	沖縄県緑化種苗協同組合 指定期間:令和2年4月～令和6年3月	所管課	土木建築部 都市公園課

I. 履行確認

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
〈日常清掃〉 快適・清潔な公園を維持する為、トイレや駐車場、主要園路及び各施設の清掃を実施し美観を維持する。	○		日常的な清掃を基本とし、祝祭日の前後など利用頻度が多い場合は適宜清掃を実施。清掃回数を増やす等、常に清潔で快適な空間を提供できるよう努めた。トイレや施設内・屋外の清掃業務管理日報を作成し、ゴミ収集や清掃業務内容を日常と定期(週・月)に分けて実施した。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に管理している。	事業計画どおり適切に実施している。	前年度同様にコロナ禍を念頭に置いた清掃業務となり、人の手が触れる箇所はアルコール等を用いた消毒除菌をこまめに行い、施設を清掃する際や施設の利用があった場合は十分な換気と消毒を施すなど徹底したコロナ対策を実施した。また、長年に渡る清掃業務の知識と経験をいかし、適切な清掃方法、道具の選別を基に丁寧な清掃を行った。今後も、国内外の観光客の動きを注視しつつ、衛生管理の徹底及びコロナ対策を踏まえた清掃を実施する。
〈定期清掃〉 園内各施設、屋外も含め、清潔で快適な環境が保てるよう、定期的に清掃を実施する。	○		各施設内の床面、窓・ドアガラス洗浄等を週1回実施。また、展望台、東屋、園路、排水溝等の高圧洗浄を定期的実施。強風や大雨後は速やかに園全体の清掃及び核施設の洗浄を実施。また、法定検査に基づき、浄化槽汲み取り(20箇所)・貯水槽(5箇所)の清掃を年1回実施し清潔で安心な環境維持に努めた。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に管理している。	事業計画どおり適切に実施している。	

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
園内巡回点検や、遊具の日常・定期点検及び建物や付属設備等の保守点検を実施し機能保全を図る。	○	○	開園前、日常巡回点検と月2回の遊具・施設の定期点検、年1回の遊具定期点検を実施。専門知識や技術が必要とされる浄化槽、貯水槽、消防・電気保安業務等は専門業者による保守点検を実施。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に管理している。	事業計画どおり適切に実施している。	徹底した点検業務を行い、さらにチェックリストをもとに不具合箇所の早期発見や機能改善に努めた。また、専門業者における定期点検で遊具や施設の状態把握に努めた。引き続き、設備の老朽状況や経年劣化状態を考慮した点検や計画的な修繕作業を行う必要がある。一つ懸念されるのが、A・Cゾーンに設置してある引込開閉器が2008年製であり更新時期を過ぎており、経年劣化によって高圧機器が故障すると停電事故に至る場合があり、地路継電気の不具合により放置しておくこと火災に発展する恐れもあるケースもあるため計画的な更新が必要とされると思われる。

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
日常的な公園の安全として、事件や事故を未然に防止するため、常駐警備を一箇所以上設置し園内警備を実施する。	○	○	昼夜の巡回警備を1日7回以上実施。また利用者への声かけ等で情報収集を行い、不審者・不審物不具合等の早期発見に努めた。また、夜間の外灯点検、施設・ゲートの施錠確認等で安全と秩序を維持することが出来た。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に管理している。	事業計画どおり適切に実施している。	日中警備と、夜間警備の連絡体制を密にし、安全危機管理の強化を図り、事件・事故等の未然防止に努めることが出来た。更なる、安全管理、声掛けの強化を実施し事件・事故等の未然防止及び、保安維持に努める必要がある。

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
建物及び附属設備の日常、定期点検を踏まえ、危険と判断した場合は、適切な処置を講じ、危険度・必要等で優先順位を決め実施する。	○		公園管理者の点検だけでなく、公園利用者の情報にも耳を傾け、不具合等の早期発見、対応に努め、施設の特性や劣化・損耗状況を把握し、迅速な修繕を心掛け利用者が安全で快適に利用出来るよう努めた。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に管理している。	事業計画どおり適切に実施している。	前年度の専門業者における健全度調査結果に基づき、普段見落としやすい細かな箇所の修繕を引き続き実施、特に遊具の修繕には力を入れた。他、木製施設(階段・橋梁)の劣化・損耗が著しい箇所は、危険性や必要性を考慮し管理者による修繕が可能な箇所においては最大限の修繕を行い安全性の保持や修繕コスト削減に努めた。一方、管理者側での修繕が困難な場合や繰り返し修繕を行っている木製施設やトイレ、浄化槽設備においては、速やかな改修工事・大規模修繕が必要とされる。

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
各年度で県貸与備品照会として希望購入備品リストを作成し提出	○		備品管理台帳を作成し、使用状況、頻度等を整理し、業務に支障がないよう修繕、買換え、購入等を予算の範囲内で実施。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に管理している。	事業計画どおり適切に実施している。	備品管理台帳を基に、物品の状態、修繕履歴を把握し適正な管理に努めた。また、雨天時などは入念なメンテナンスを実施することにより、不具合箇所の早期発見に繋ぐことが出来た。しかし、使用頻度が多い刈払機や乗用芝刈り機の修繕が重なった場合、台数不足等で作業効率が低下してしまい為、予備の機器の確保も必要である。重ねてR3年度の備品購入計画が予算の都合上購入できなかったこともあり、R4年度には備品購入計画を更に見直す必要がある。

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
危険を予知するという視点で巡回を行い、作業スタッフも作業箇所周辺の異変や異常、施設の不具合等がないかなど多くの目で確認を行い、事故や犯罪、災害の未然防止に努める。	○		利用者が日常的に安心安全に利用できる環境の確保に努め、自然災害や火災等、緊急時の対応として防火・防災計画書を作成し、消防訓練を実施。救命処置が速やかに行えるようAEDを常備。また、危険生物に対する応急処置の講習会を開催し、現場スタッフの意識を高めた。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に管理している。	事業計画どおり適切に実施している。	災害や緊急時等に対応する勉強会を行い、関係機関との連携を図りながら防犯・防災対策に努めている。今後も災害や救命などの緊急時、速やかに対応できるよう心掛け、安全・安心に利用できる環境づくりを徹底していくこと。

(7) 料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
利用料金の徴収を行う立場を正しく認識し、安全、確実、適正な処理を行う体制を確立し、利用料金の徴収業務を行います。	○		原則窓口での現金徴収とし、占用、減免審査については条例の規定に基づき公平・公正に対応し、収受の記録や報告等を適正に実施。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に管理している。	事業計画どおり適切に実施している。	利用料の徴収においては、常に公益性を持っていることを念頭に適正な徴収業務に努めた。

(8) 植栽管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
植栽樹木等については、専門家が定期巡回を行い、剪定、刈込み、施肥等の時期を決定し健全な植物維持管理に努める。	○		年間維持管理計画に基づき、樹木等の生育に配慮した剪定、施肥等を実施。また前年度同様デイゴの再生保全対策で専門業者と連携をとり、ヒメコバチ防除対策(樹幹注入)を実施。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に管理している。	事業計画どおり適切に実施している。	植栽や樹木の生育状況の観察、開花時期と状態に配慮した剪定・施肥を実施し、健全な植栽維持管理に努めた。これにより、公園内を散策する多くの利用者や景観を求めて訪れる観光客からも「花がきれい」「景色がすばらしい」などの声を頂いた。今後も、同様の維持管理他、デイゴの再生保全等についても専門業者と連携し効果的な取り組みを行う。

1. 維持管理業務 取組改善案	感染防止対策を徹底しつつ、利用者が安心して過ごせるように維持管理業務を行った。一方、施設は経年劣化が目立ち、利用者の安全確保が喫緊の課題となっている。県・指定管理者が連携し、適時適切な施設修繕を行う必要がある。
--------------------	---

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

		令和2年実績	事業計画 (目標値)	令和3年実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
利用者数	個人利用者数	320,848人	370,000人	373,273人	116%	101%	前年度と比べると多少の回復傾向がみられるが、コロナ禍における蔓延防止措置などに伴い利用者の外出自粛や相次ぐイベントの中止、特に団体旅行や遠足等のキャンセルなどが団体利用者数の減少に影響している。
	団体利用者数	37,671人	30,000人	28,845人	77%	96%	
	計	358,519人	400,000人	402,118人	112%	101%	

評価(①利用状況)

A

【評価基準(①利用状況)】

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

2) 教室・イベント等参加者実績

	内容	令和2年実績	事業計画 (目標値)	令和3年実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
教室	通年事業(昆虫館・活性化プログラム)	5,304人	5,000人	5,424人	102%	108%	一時回復の兆しを見せたコロナだったが、それでも多くの市民や観光客が外出や旅行を自粛したため活性化プログラム・昆虫館の利用、セグウェイツアーなど参加者人数が伸び悩んだ。矯正展や観察会、学校行事の中止、慰霊祭などにおいても、規模を縮小しての実施などと前年度実績とほぼ変わらない結果となった。
	観察会、講習会、学習会、展示会	177人	150人	172人	97%	115%	
イベント	通年事業(セグウェイツアー)	400人	300人	622人	156%	207%	
	ホテル、キッズ、健康WK、慰霊祭、童謡コン、ロードレース、緑化祭・ハロウィン、ドッグ、学校行事	5,330人	5,000人	6,017人	113%	120%	
計		11,211人	10,450人	12,235人	109%	117%	

(2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈開園日数〉	361日	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に管理している。	事業計画どおり適切に実施している。	台風6号(7/22~24)及び台風14号(9/12)の影響により閉園
〈開館時間〉 (駐車場利用可能時間)	7時~21時			

(3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
公園管理事務所で行うものとし、日中は職員等を1名以上配置し、苦情・相談については、管理事務所において公園管理者が随時対応する。	○		予約受付や利用申請、許可、付与までの手続きを条例に照らして、管理事務所にて適正に実施した。また、苦情や意見・要望等については利用者の視点に立った丁寧な対応を心がけ迅速に対処した。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に管理している。	事業計画どおり適切に実施している。	利用者の意見やニーズを積極的に取り入れ、利便性の向上と利用促進を図る事ができていた。管理事務所の窓口においては、コロナ禍における利用者とのソーシャルディスタンスを遵守し、受付窓口にはビニールシートを設け、消毒用アルコールを設置する等の対策も実施。今後とも、利用者とのコミュニケーションの向上と適切な情報提供を行っていく必要がある。

(4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
HPにおいて、イベントや公園の旬な情報の提供、インターネットの情報サイトや旅行雑誌等を利活用した情報発信。	○		地域新聞、地元情報誌、イベント情報掲載、旅行情報誌等のマスメディアに対するこまめな修正、発信を心掛け、知名度アップに繋がった。また、公園内掲示板等を利用して積極的に公園情報の発信を行った。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に管理している。	事業計画どおり適切に実施している。	前年度同様、コロナ禍においてイベント等の中止が相次ぎ、広報におけるほとんどがコロナ防止対策や緊急事態宣言下における公園利用についての情報発信となった。掲示板や園路、各施設の入り口などへ状況に応じたサインボードやポスターなどを掲示し、利用者へコロナ禍における公園利用の周知徹底を呼びかけた。コロナ収束後は、今まで以上公園のPRに力を入れた情報発信を心掛けた。

(5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
基本協定書第21条に基づき、関係法令を遵守し、適切に実施している。	○		沖縄県個人情報保護条例及びその他法令を遵守するとともに、個人情報保護方針を作成し、個人情報の保護に努めた。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に管理している。	事業計画どおり適切に実施している。	個人情報の取り扱いや保護等について、適正に管理を行っていた。引き続き定期的な情報管理のチェックが必要である。

3. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
【新規】 外来カエル捕獲・ 観察会	○	○	特定外来生物であるオオヒキガエルやシロアゴガエルについての基礎学習や駆除活動を体験しながら、外来生物が及ぼす環境問題を認識してもらうことを目的とし、環境省石垣自然環境事務所主催の下、外来カエル捕獲・観察会を開催。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に管理している。	事業計画どおり適切に実施している。	初開催となる外来カエルの捕獲・観察会。夜間の観察会としては2回目。強風雨の悪天候だったもの、散策路を数分歩くと多くのカエルを発見。捕獲対象のオオヒキガエルをはじめ、多くの在来種カエルも観察することができた。今回の捕獲・観察会にて、島にいる外来生物が環境や生態系に大きな影響を与えている事実にも多くの参加者が関心を示し、イベント終了後のアンケート結果でも満足度の高い企画内容となった。
ドッグラン2021@バナナ公園	○		動物愛護及び動物を飼う際の理解・認知度を深め、公園利用者や愛犬家の公園利用のマナー向上に繋げるのが目的。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に管理している。	事業計画どおり適切に実施している。	新型コロナウイルスの沖縄県警戒レベル指標も大幅に下がったため開催に至った。感染症対策として、検温・マスクの着用・手指消毒の他、場内での密状態を防ぐため、飼い主及び関係者以外はドッグラン内への入場を断り、しつけ教室や競争などの催しも中止とした。当日は天気にも恵まれ、前回のドッグイベントを上回る38頭(匹)の愛犬と飼い主たちが訪れた(飼い主・その家族等、参加者は約115名)。今回もイベントを通じ、動物愛護や犬を散歩させる際の公園利用マナー等、参加者が楽しみながら周知してもらえたイベントとなった。
バナナ公園ホテル 観賞会 キッズイベント 昆虫教室・採集と 標本づくり 童謡コンサート ハッピーハロウィン 健康づくりウォーキング バナナ公園ひなまつり	○	○	予定していた左記自主事業イベントは、新型コロナウイルス感染症の影響によりほぼ中止となった。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に管理している。	事業計画どおり適切に実施している。	コロナ禍における、利用者の健康や安全を考慮した結果、残念ながら事業計画に取り入れた自主事業イベントはほぼ中止とした。自主事業イベントは、利用者からの期待度も大きく、公園の活性化や収益にも繋がるので、コロナ収束後は一層力を入れて取り組む事とする。

2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	これまで同様、適正な情報管理を行い、広報活動においても多くの市民や利用者へ正しい情報発信を行うと共に、アフターコロナを見据えながら更なる公園運営業務へ繋げていく。 また、多くの自主事業イベントが中止となったが、感染防止対策を徹底しつつ、利用者が楽しめる自主事業イベントを企画する必要がある。
-----------------------------	--

II. サービスの質の評価

評価項目		第三者(利用者等)評価			指定管理者自己評価	現状分析・課題	
		令和2年評価	令和3年目標	令和3年評価			
維持管理業務	施設・設備管理	〈満足度〉100% (※1) ・満足72.3% ・やや満足27.7% ・やや不満0% ・不満0%	〈満足度〉100% (※1)	〈満足度〉99% (※1) ・満足66.7% ・やや満足32.3% ・やや不満1% ・不満0%	S	職員による日常の巡回・点検を強化し、不具合箇所の早期発見と早期補修・整備等に努め、また、専門業者による設備点検・法廷検査も参考にする等で施設の維持管理へと繋ぎ、公園内安全管理の徹底を実施することができた。	管理者における日常点検利用者の声、専門業者による調査結果に基づき施設・設備の管理や修繕を行い、また緑地管理に措いては利用者が常に安全安心に公園を楽しめるよう努めた結果、高評価を得た。一方、要望にあるボードウォークは頻繁に修繕しているもの、管理者の修繕技術だけでは困難な箇所もあり現在はカラーコーンなどで注意喚起を促している。また、北口C棟トイレに関しても前年度より専門業者に排水溝の調査及び木根除去を依頼している状態だが、想定していた以上に根深いものであり次年度まで作業がずれ込む結果となっているため、やむを得ず使用禁止にする回数が多くなっている。
		〈改善要望〉 ・ボードウォーク修理した方がよいのでは ・トイレがよく使用禁止になっている(C棟女子)					
運営業務	接客対応	〈満足度〉100% (※1) ・満足78.0% ・やや満足22.0% ・やや不満0% ・不満0%	〈満足度〉100% (※1)	〈満足度〉100% (※1) ・満足86.6% ・やや満足13.4% ・やや不満0% ・不満0%	S	利用者との交流を図りながら要望、意見などを積極的に取り入れ、安定した接客サービスを提供。また、積極的に挨拶や声掛けなどのコミュニケーションを図り、利用案内や情報提供を行うと同時に、苦情・要望に対しても迅速に対応した。	利用者を見かけたら積極的に挨拶や声掛けを続けた結果、利用者側からの挨拶の他、芳いの言葉や園内の様々な情報も頂けるようになった。また、前年度同様巡回時のアンケートを強化した為、親しみやすいスタッフのイメージが定着。公園スタッフがボランティアで外来植物の駆除作業に参加したり、園内の生き物や植物について説明する姿も好印象を与えた要因だと思われる。引き続き、積極的に利用者とのコミュニケーションを図り満足度を向上させる。
		〈改善要望〉 ・特になし					
	施設・設備	〈満足度〉96.1% (※1) ・満足63.3% ・やや満足32.8% ・やや不満3.4% ・不満0.6%	〈満足度〉100% (※1)	〈満足度〉97.5% (※1) ・満足65.2% ・やや満足32.3% ・やや不満1.0% ・不満0% ・未回答1.5%	S	主要施設における消毒液の設置、「マスク着用、密を避けるお願い」の掲示など、コロナ禍においても安心して施設を利用できるよう配慮。また遊具設備、トイレや休憩所等の施設も日常点検により、利用しやすい施設・設備を提供することが出来た。	日々の点検や修繕、利用者の声を反映させるなどで、安心・安全な施設・設備を利用者へ提供できた。今回は改善要望具体的な改善要望は見受けられず、「感激した」「とてもよかった」などの声が多かった。今後、ドッグランの常設を検討していく必要がある。
		〈改善要望〉 ・ドッグラン常設希望 など					

<p>利用条件</p>	<p>〈満足度〉95.0%(*1) ・満足58.8% ・やや満足36.2% ・やや不満4.5% ・不満0.6%</p>	<p>〈満足度〉100%(*1)</p>	<p>〈満足度〉94%(*1) ・満足70.6% ・やや満足23.4% ・やや不満5.0% ・不満0% ・未回答1.0%</p>	<p>S</p>	<p>多くの利用者や外部団体等の声を活かすことにより、安全・安心で利用しやすい公園を提供することが出来た。 また、必要箇所にはサインボード等を設置し正しい公園利用のルールも掲示し、周知に努めた。</p>	<p>雨天後の多目的お祭り広場の水たまりには砂を入れて整備を施したが、グラウンドの使用状況が砂では一時のきであり耐久性に欠ける為、黒土を入手できないか検討中。また、犬の散歩に関してもノーリードやロングリードを使用する利用者に対しては、常に注意を促している。 車両の速度に関しては公園内徐行等の看板を明示しているが、ウォーキングや散策等も増加傾向にある中、公園内での交通事故を防止するため、安全運転を促すサインボードの設置を増加する事も必要と思われる。</p>
<p>教室・プログラム</p>	<p>〈満足度〉100%(*1) ・満足100% ・やや満足0% ・やや不満0% ・不満0%</p>	<p>〈満足度〉100%(*1)</p>	<p>〈満足度〉100%(*1) ・満足100% ・やや満足0% ・やや不満0% ・不満0%</p>	<p>S</p>	<p>施設活性化プログラムの利用の普及や認知により新規のサークルの利用や以前からのサークル活動も盛んになり、利用内容も充実してきた。</p>	<p>計画的な事業を実施したことにより、利用者ニーズに対応した教室やサークル活動で幅広い年齢層の利用促進に繋がっている。</p>
<p>自主事業</p>	<p>〈満足度〉66.1%(*1) ・満足40.1% ・やや満足26.0% ・やや不満0% ・不満0% ・未回答33.9%</p>	<p>〈満足度〉100%(*1)</p>	<p>〈満足度〉34.9%(*1) ・満足26.9% ・やや満足8.0% ・やや不満0.5% ・不満0% ・未回答64.6%</p>	<p>C</p>	<p>コロナ禍の影響を受け事業計画における各自主事業イベントは中止を余儀なくされた。 自主事業のアンケート欄に不満の声は上がらなかったものの、未回答が6割以上を占めた。</p>	<p>今年度もほとんどのイベントが中止となる中、一旦コロナが落ち着きを見せた10月と12月に小規模ではあるが辛うじてイベントを開催しアンケートを回収することができた。 イベント参加者の大多数が「参加してよかった」「次回も開催して下さい」等の高い満足度であった。一方、イベントの中止が続いた結果、イベントの事を知らない利用者数が前年度以上に増加しているため、コロナ収束後は利用者の期待に応えられるよう、様々な自主事業イベントを計画・開催したい。</p>

総合評価 (各評価項目の平均)	〈満足度〉 92.8%	〈満足度〉 100% (※1)	〈満足度〉 87.5%	評価 (②満足度) A	アンケートの意見・要望欄へは「管理がしっかり行き届いている」「よく挨拶してくれる」など、公園への全体的な好感度は非常に高いものと思われる。また、文字だけだと伝わりにくい改善要望が利用者から直接得られるという点は大きなメリットとなった。実際に利用者とのコミュニケーションを図りながら多くの情報が入手できた点を考慮すれば、巡回しながらのアンケート回収は継続すべきかと思われる。	昨年に引き続き、コロナ禍での蔓延防止などにより利用者が減少する要因は多かった。特に影響を受けたのが自主事業イベントの中止でありアンケートの結果にも大きく影響しているのが分かる。その中でも、ウォーキングや気分転換、遊具目的で公園を利用する市民は多数おり、感染防止対策を徹底しつつ、今後も適正な施設・設備の維持管理や接客を行った上で、公園利用者の満足度向上へと繋げていく必要がある。

※1: 満足度とは、回答選択肢のうち中位を超える割合(5段階評価の場合上位2段階の割合、4段階評価の場合上位2段の割合、3段階評価の場合上位の割合)
ただし、奇数評価の場合、中央に集まる傾向があること、「普通」評価は改善に繋げる観点では価値が乏しいことから、4段階評価が望ましい。

【評価基準 (②満足度)】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均
各評価項目においてはそれぞれの満足度
S : 90%以上
A : 80%以上、90%未満
B : 70%以上、80%未満
C : 70%未満

II. サービスの質 の評価 取組改善案	維持管理、接客対応等で高い評価を得た一方、自主事業イベントの中止が相次ぎ、評価が下がってしまった。今後もコロナ禍の影響を強く受けることが予想されるため、感染防止対策を徹底しつつ、利用者に喜んでいただけるイベントを企画していく必要がある。
----------------------------	--

III. サービスの安定性評価(財務状況)

1. 事業収支

(1) 収入

単位:円

収入項目		令和2年実績	事業計画	令和3年実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
利用料金収入	施設利用料収入	314,930	250,000	378,031	120%	151%	
	行為の制限に係る 利用料収入	12,070	50,000	40,109	332%	80%	
	計	327,000	300,000	418,140	128%	139%	
指定管理料		45,212,000	45,212,000	45,212,000	100%	100%	
自動販売機収入		2,359,351	2,400,000	2,720,064	115%	113%	
不可抗力・大規模修繕等		0	0	0	-	-	
その他収入 受取利息・雑収入		50	0	56	112%	-	
自主事業収入	自主事業収入	709,112	1,351,000	962,469	136%	71%	公益事業・活性化プログラム・昆虫館・セグウェイ
	計	709,112	1,351,000	962,469	136%	71%	
合計(A)		47,898,401	47,912,000	48,350,260	101%	101%	合計額に不可抗力・大規模修繕等及び自主事業収入は含まない。
<p>(現状分析・課題)</p> <p>利用者の自粛による施設利用のキャンセル等はあったが、施設利用収入は前年度を上回る結果となっている。前年度の全体利用者数と比較すると、施設利用収入は着実に実績を上げている。 今後もコロナの感染状況を注視しながら、常に良好な状態の施設維持に努めると共に、感染症収束後には自主事業イベントにも力を入れ収入増加に繋げていく。</p>							

(2) 支出

単位:円

支出項目	令和2年実績	事業計画	令和3年実績	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項	
人件費(給与、法定福利費等)	21,152,823	23,926,000	22,274,131	105%	93%		
賃金	0	0	0	-	-		
報償費	0	0	0	-	-		
旅費	0	0	0	-	-		
食料費(会議費)	8,850	35,000	9,200	104%	26%		
消耗品費	645,605	780,000	723,811	112%	93%		
燃料費	1,024,345	1,250,000	1,389,776	136%	111%		
印刷製本費	39,555	110,000	21,927	55%	20%		
光熱水費	4,968,895	4,800,000	5,001,316	101%	104%		
通信運搬費	225,513	280,000	248,291	110%	89%		
広告料	0	15,000	0	-	0%		
手数料	11,990	20,000	36,900	308%	185%		
施設賠償責任保険料等	395,805	400,000	395,200	100%	99%		
自動車損害保険料	66,490	70,000	72,360	109%	103%		
委託料	9,433,380	9,449,880	9,582,480	102%	101%		
使用料及び賃借料	1,434,602	1,604,000	1,309,770	91%	82%		
備品購入費	320,416	250,000	164,592	51%	66%		
負担金	0	15,000	0	-	0%		
公租公課	2,302,057	2,100,000	2,319,458	101%	110%		
施設修繕費	2,008,008	2,000,000	2,169,145	108%	108%	樹木伐採費も含む	
不可抗力・大規模修繕等	0	0	0	-	-		
その他	225,290	0	126,919	56%	-	原材料費、福利厚生費、廃棄物処理費	
合計(B)	44,263,624	47,104,880	45,845,276	104%	97%		
<p>(現状分析・課題)</p> <p>台風被害がなかったため、倒木撤去や施設修繕に要する経費がかからなかった。しかし今後は、物価上昇の影響を強く受けることが予想されるため、意識的に経費節減に努める必要がある。</p>							

2. 経営分析指標

単位:円

評価指標	令和2年実績	事業計画	令和3年実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
事業収支(C) (収入(A)-支出(B))	3,634,777	807,120	2,504,984	69%	310%	
収益率 (事業収支(C)/収入合計(A))	7.59%	1.68%	5.18%	68%	308%	
利用料金比率 (利用料金収入/収入(A))	0.68%	0.63%	0.86%	127%	138%	
人件費比率 (人件費/支出(B))	47.79%	50.79%	48.59%	102%	96%	
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出(B))	21.31%	20.06%	20.90%	98%	104%	
利用者あたり管理コスト (支出(B)/利用者数)	123.46	117.76	114.01	92%	97%	
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料/利用者数)	126.11	113.03	112.43	89%	99%	
(現状分析・課題) 前年度より利用者が増加しているが収益率が減となっている。コロナの感染拡大抑制の影響での自粛で自主事業の収益が伸びなかったのが要因と考えられる。感染防止対策を徹底しつつ、収益増につながるイベントを企画していく必要がある。						

評価(③財務状況)

A

【評価基準(③財務状況)】
 収益率(事業収支/収入合計)
 A: 0%以上
 B: -5%以上、0%未満
 C: -5%未満

III. サービスの安定性評価 (財務状況) 取組改善案	コロナ禍の影響を受けているにもかかわらず、高い収益率を維持していることは評価に値する。管理業務を効率化し、経費節減を徹底した結果と思われる。今後はコロナ禍に加え、物価上昇の影響を受けることが予想されるが、引き続き経費節減に取り組む必要がある。
------------------------------------	---

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入-支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支/収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入/収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出/利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料/利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

1. 目標

評価項目	評価指標	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	備考
成果指標	①利用状況	利用者数	450,000人	500,000人	510,000人	520,000人
	②満足度	満足度	100%	100%	100%	100%
財務指標	③財務状況	収益率	6.00%	6.00%	6.00%	6.00%

2. 評価結果

評価項目	評価指標	令和2年実績	事業計画 (目標値)	令和3年実績	前年比	計画比	現状分析・課題	評価	取組改善案	令和4年 目標値	
成果指標	①利用状況	利用者数	358,519人	400,000人	402,118人	112.2%	100.5%	前年度と比べると多少の回復傾向がみられるが、コロナ禍における蔓延防止措置などに伴い利用者の外出自粛や相次ぐイベントの中止、特に団体旅行や遠足等のキャンセルなどが団体利用者数の減少に影響している。	A	これまで同様、適正な情報管理を行い、広報活動においても多くの市民や利用者へ正しい情報発信を行うと共に、アフターコロナを見据えながら更なる公園運営業務へ繋げていく。 また、多くの自主事業イベントが中止となったが、感染防止対策を徹底しつつ、利用者が楽しめる自主事業イベントを企画する必要がある。	450,000人
	②満足度	満足度	92.8%	100.0%	87.5%	94.3%	87.5%	昨年に引き続き、コロナ禍での蔓延防止などにより利用者が減少する要因は多かった。特に影響を受けたのが自主事業イベントの中止でありアンケートの結果にも大きく影響しているのが分かる。 その中でも、ウォーキングや気分転換、遊具目的で公園を利用する市民は多数おり、感染防止対策を徹底しつつ、今後も適正な施設・設備の維持管理や接客を行った上で、公園利用者の満足度向上へと繋げていく必要がある。	A	維持管理、接客対応等で高い評価を得た一方、自主事業イベントの中止が相次ぎ、評価が下がってしまった。 今後もコロナ禍の影響を強く受けることが予想されるため、感染防止対策を徹底しつつ、利用者に喜んでいただけるイベントを企画していく必要がある。	100.0%
財務指標	③財務状況	収益率	8.94%	1.68%	6.00%	67.11%	357.14%	前年度より利用者が増加しているが収益率が減少している。コロナの感染拡大抑制の影響での自粛で自主事業の収益が伸びなかったのが要因と考えられる。感染防止対策を徹底しつつ、収益増につながるイベントを企画していく必要がある。	A	コロナ禍の影響を受けているにもかかわらず、高い収益率を維持していることは評価に値する。管理業務を効率化し、経費節減を徹底した結果と思われる。今後はコロナ禍に加え、物価上昇の影響を受けることが予想されるが、引き続き経費節減に取り組む必要がある。	6.00%
活動指標	④重点取組事項	アンケート回収数の増加※入場者数に対するアンケート回収数の割合	0.05%	0.0.5%	0.05%	-	-	前年度に引き続き、感染予防の観点から各施設に設置していたアンケートスペースを撤去。管理者巡回時における利用者への直接アンケート及び開催したイベント内にてアンケート実施となったが、幸じて定めていた目標値に達成することができた。今後もコロナ禍においては、巡回時の直接アンケートの数を増加させ、また感染症収束後には、イベント等にて、より多くの利用者から意見や要望を収集する。	A	管理者巡回時における直接アンケートの回収を強化していくと共に、コロナ収束後にはアンケートボックスの設置再開、自主事業等のイベント開催時においても、より多くの意見や要望を収集し、更なる公園の活性化に努める。	0.05%

総合評価	A
------	---

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率

S：110%以上

A：100%以上、110%未満

B：80%以上、100%未満

C：80%未満

②満足度

総合評価における満足度（各評価項目の平均値）

S：90%以上

A：80%以上、90%未満

B：70%以上、80%未満

C：70%未満

③財務状況

収益率（事業収支／収入合計）

A：0%以上

B：-5%以上、0%未満

C：-5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

S：目標を大きく上回る

A：目標を概ね達成

B：目標を下回る

【総合評価基準】

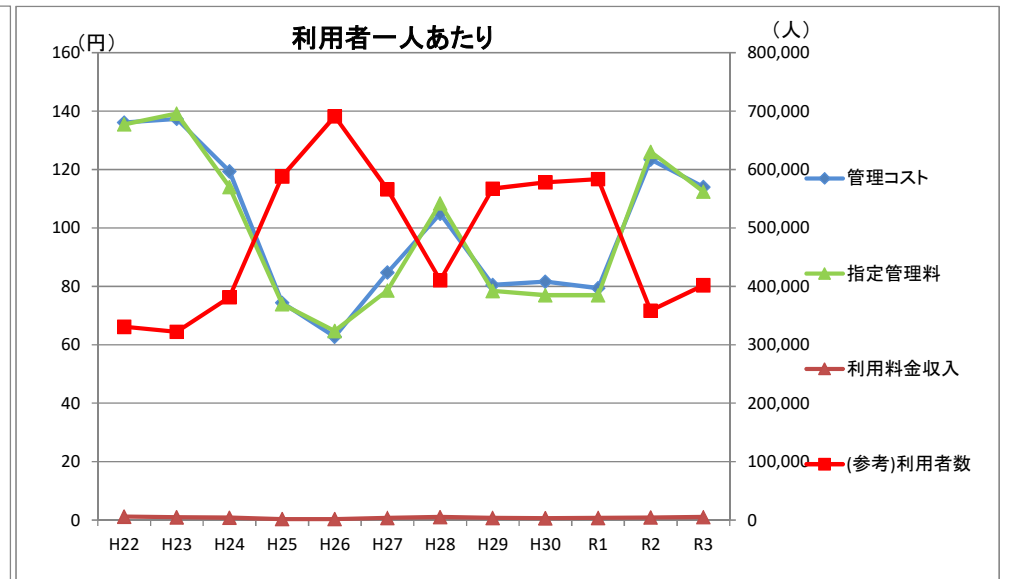
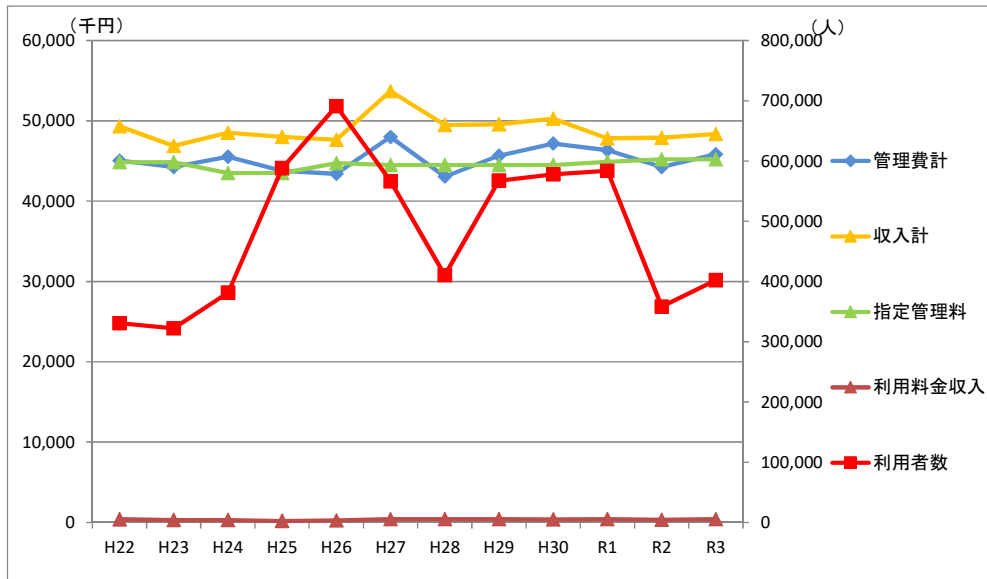
総合評価基準	
S	40点以上 <small>かつ各評価項目においてC評価がないこと</small>
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

【各評価項目点数】

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	-	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

経営状況分析シート【施設名称:バナナ公園】

指標	単位	直営		指定管理																		
		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5		
成果指標	利用者数	目標	人															579,000	350,000	400,000	450,000	500,000
		実績	人				362,219	383,789	330,942	322,199	381,487	588,285	691,147	566,220	410,434	567,371	578,096	583,681	358,519	402,118		
		目標比																101%	102%	101%		
財務指標	指定管理料	千円			47,390	44,840	44,840	44,840	43,500	43,500	44,743	44,500	44,500	44,500	44,500	44,500	44,912	45,212	45,212			
	県負担割合(指定管理料/管理費計)	%			106.8%	104.7%	99.5%	101.3%	95.5%	99.3%	103.1%	92.7%	103.4%	97.4%	94.3%	96.9%	102.1%	98.6%				
	利用料金収入	千円			206	528	390	297	312	184	253	406	407	410	365	405	327	418				
	利用料金比率(利用料金/収入計)	%			0.4%	1.1%	0.8%	0.6%	0.6%	0.4%	0.5%	0.8%	0.8%	0.8%	0.7%	0.8%	0.7%	0.9%				
	その他収入(自主事業等)	千円													4,591	2,507	2,359	2,720				
	収入計	千円			49,420	47,304	49,311	46,900	48,520	48,030	47,651	53,714	49,489	49,566	50,291	47,824	47,898	48,350				
	管理費計	千円			44,389	42,819	45,060	44,254	45,534	43,787	43,411	48,001	43,056	45,673	47,181	46,345	44,264	45,845				
	収支	千円			5,031	4,485	4,251	2,646	2,986	4,243	4,240	5,713	6,433	3,893	3,110	1,479	3,634	2,505				
	収益率(収支/収入計)	%			10.2%	9.5%	8.6%	5.6%	6.2%	8.8%	8.9%	10.6%	13.0%	7.9%	6.2%	3.1%	7.6%	5.2%				
	/単位	一人あたり管理コスト	円			123	112	136	137	119	74	63	85	105	80	82	79	123	114			
	一人あたり指定管理料	円			131	117	135	139	114	74	65	79	108	78	77	77	126	112				
	一人あたり利用料金収入	円			1	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1				



特記事項

R4年度	令和4年度以降も、新型コロナウイルス感染拡大の影響を強く受けるとともに、物価上昇の影響も強く受けことが予想される。
R5年度	
R6年度	
R7年度	

目標設定の考え方

R4年度	コロナ禍の影響が続くものの、感染防止対策を徹底しつつ、創意工夫を凝らした自主事業を展開することで、利用者数の増加につなげたい。
R5年度	
R6年度	
R7年度	